

# サンドブラスタ

## SAND BLASTER

### 取扱説明書

この度はサンドブラスタをお買い求めいただき、ありがとうございます。末長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

#### もくじ

●はじめに	2	・ライト用アダプタを接続する	14
・サンドブラスタについて	2	●補助通気口について	15
・適応コンプレッサ	2	・補助通気口エアフィルタのセット	15
・仕様	2	●運転手順	16
●安全上のご注意	3	・ライトを点ける	16
・ご使用前 △警告	3	・操作方法	16
・ご使用前 △注意	5	・作業が終了したら	18
・ご使用中 △警告	6	①研磨材の抜き取り	18
・ご使用中 △注意	6	②エアフィルタの清掃	18
・ご使用后 △警告	7	●故障かな?と思ったら	19
・ご使用后 △注意	7	●保守と点検	20
●各部の名称	8	・保護シートの交換	20
●梱包内容の確認	10	・ハンドグローブの交換	20
●ご使用前に	11	・エアフィルタの交換	21
・組み立ての前に	11	・ライトの交換	22
・保護フィルムを剥がす	11	・フタの交換	25
・エアフィルタの確認	11	・作業後のお手入れ	27
・ノズルの交換	11	・各部の点検	27
・プラスチックの取り付け	12	・保管について	27
①研磨材吸込口の取り付け	12	・修理について	27
②空気接続口の取り付け	12	●別売品について	28
・研磨材の投入	13	●エアパーツ接続例	29
・コンプレッサとの接続	14		



◎お読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

発売元 **株式会社パオック**

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

はじめに P2  
P5  
P7

各部の名称 P8  
P10

使いかた P11  
P18

その他 P19  
P29

# 安全上のご注意

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

本取扱説明書の注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分されています。

## ⚠ 警告

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

## ⚠ 注意

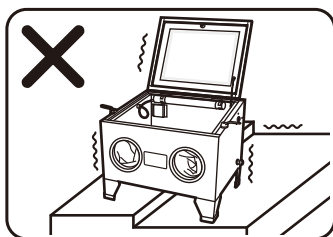
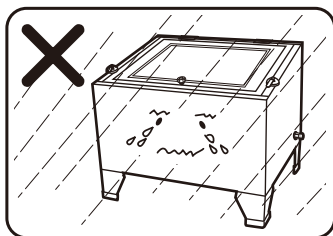
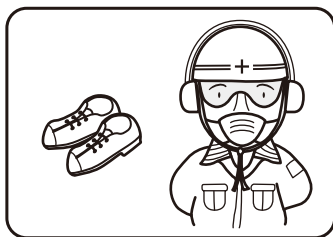
この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。

なお、⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。

## ご使用前

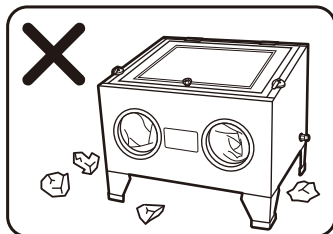
## ⚠ 警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。
- 作業はきちんとした服装で行ってください。
  - 研磨材を吸込んだり、身体にあたりすると、身体を害する恐れがあります。ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用し、安全に作業してください。
- 本機の設置場所に十分考慮してください。
  - 研磨材が漏れても支障のない場所に設置してください。作業時にキャビネット内の圧力が高まると、キャビネットが膨張し、エアと共に研磨材が漏れる場合があります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - サンドブラスタは、雨の中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
- 揮発性可燃物のそばで使用しないでください。
  - 引火または爆発の恐れがあり、危険です。
- 安定性のよい場所に置いて作業してください。
  - 不安定な場所での作業は、けがの原因となります。



**ご使用前****⚠ 注意**

- 1. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。**
  - ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因となります。
- 2. 必ず内径6.5 mm以上・長さ10 m以内のエアホースを使用してください。**
  - ・内径が6.5 mm未満、長さ10 mを超えたエアホースを使用すると、圧力低下の原因となり、十分な作業能力が得られません。
  - また、エアホース以外のホースを使用すると、ホースが破裂する恐れがあります。
- 3. コンプレッサはキャビネットからできるだけ離してご使用ください。**
  - ・近い場所では、キャビネットから研磨材が漏れた際に研磨材をコンプレッサが吸い込み、故障の原因となります。



## ご使用後

## 警告

## 1. 作業後は、必ずエアホースを本機から抜いてください。

- ・コンプレッサを止め、エアホース内の残圧を抜いた上で、エアホースを本機から外してください。

## 2. エアフィルタ・補助通気口エアフィルタの掃除をこまめにしてください。

- ・使用した研磨材がフィルタの目詰まりを起こし、内部エアがフィルタから抜けにくくなると、キャビネットから研磨材が漏れる原因となる恐れがあります。

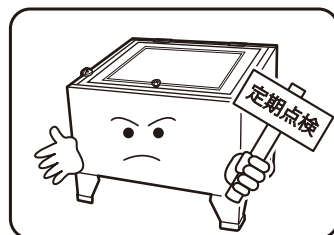
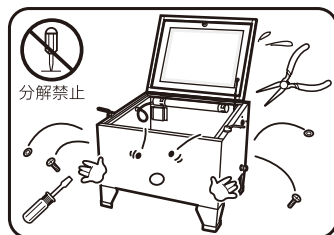
## 3. 本機を分解、改造しないでください。

- ・事故やけが、故障の原因となります。

## 4. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因となります。

定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。



## ご使用後

## 注意

## 1. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

## ■主要各部の名称と機能

	名 称	機 能
①	キャビネット	加工物を入れ、研磨材を循環させて作業が行えます。
②	フタ	透明なのでキャビネット内の加工物を確認しながら作業できます。 ※フタの表面に貼られているフィルムを剥がしてからご使用ください。
③	固定フック	フタが開かないように固定します。
④	ハンドグローブ挿入口	ここからハンドグローブ内に手を入れます。
⑤	ハンドグローブ	研磨材から手を守ります。
⑥	ブラストガン	研磨材を吐出し、研磨・研削・ブラスト作業ができます。
⑦	レバースイッチ	引くと研磨材が吐出し、放すと止まります。
⑧	空気接続口	エアホースを接続します。
⑨	通気口	キャビネット内の空気の排出を行います。
⑩	ライト	キャビネット内を明るくし、作業をしやすくします。
⑪	ライト用スイッチ	ライトの電源のON/OFF操作をします。
⑫	作業ネット	研磨材の中に部品や作業物が落ちないようにするネットです。
⑬	保護シート	フタの窓を保護するシートです。(傷んだら交換してください。)
⑭	補助通気口	補助通気口エアフィルタを取り付けて、通気口の補助として使用します。
⑮	アダプタプラグ接続口	ライト用アダプタの接続口です。
⑯	ボックス	ライト用の端子等の配線が収められています。
⑰	研磨材吸込口取付穴	ブラストガンの研磨材吸込口を取り付けます。研磨材の排出口も兼ねています。

# ご使用前に

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

## ■組み立ての前に

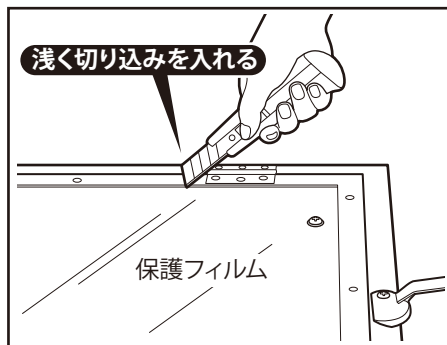
- ・本機の組み立てには、カッター、⊕2 ドライバが必要となりますので、ご注意ください。
- ・本機は乾燥していて安定性の良い、研磨材が漏れても支障のない場所に設置してください。

## ■保護フィルムを剥がす

フタ表面を保護しているフィルムを剥がします。  
フタのフチに沿って、カッターなどで浅くフィルムに切り込みを入れて、剥がしてください。

### ⚠注意

- ・深く切り込みすぎてフタに傷を付けると、フタの強度が弱くなり危険ですのでご注意ください。
- ・保護フィルムを剥がさずに使用すると、キャビネット内部が見えにくく危険ですので、必ず剥がしてからご使用ください。

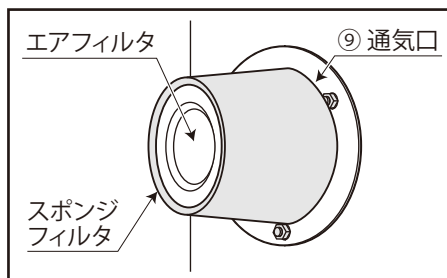


## ■エアフィルタの確認

通気口に取り付けられているエアフィルタに、スポンジフィルタが付いている事を確認してください。

### ⚠注意

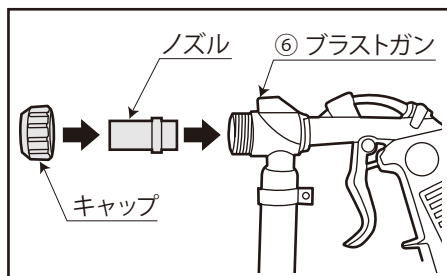
スポンジフィルタは、エアフィルタの一部です。捨てないようにご注意ください。



## ■ノズルの交換

ブラストガンのキャップを外し、付属品のノズルを挟む様に取り付けてください。

※ノズルは、穴径サイズが大きいほど研磨材の吐出量が多くなります。  
研磨するものの状態や、作業環境に応じて交換してください。



## ■ 研磨材の投入

ご使用になる前に、ブラストガンの研磨材吸込口が研磨材吸込口取付穴に確実に取り付けられていることを確認し、用途に適した研磨材をゆっくりとキャビネット内に投入してください。

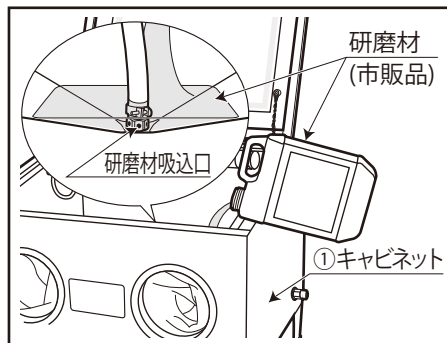
研磨材吸込口が埋まる程度（目安として約2kg）、研磨材を投入します。

### ⚠ 注意

- ・ 研磨材は4kg以上入れないでください。
  - ・ 研磨材が作業ネットを越えないようにしてください。
  - ・ 用途に適した研磨材をご使用ください。
- ※ 下記《適用研磨材表》を参考に当社別売品もしくは市販品をご利用ください。

・ 別売表参照

**P28**



## 《適用研磨材表》

用 途	ケイ砂 C#15	グリーン カーボラダム GC#120	アランダム A#100	ホワイト アランダム WA#100	ガラスビーズ G#100
さび、塗装のはがし	○	○	◎	○	
ステンレス加工及びメッキはがし	○	◎		○	
カーボン除去		○	◎	○	
金属面のクリーニング					◎
塗装前の下地調整		○	○	◎	○
ガラスの彫刻	○	◎		○	
繰返しの使用	1~2回程度	◎	◎	◎	◎

◎…最適

○…適する

# 補助通気口について

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

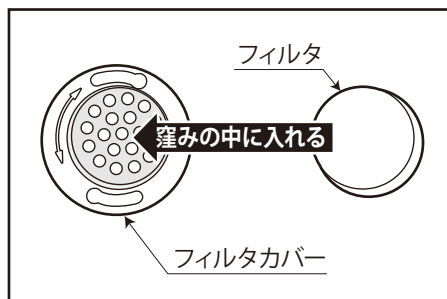
キャビネット内は気密性が高いため、コンプレッサの圧縮空気が入ると、気圧が上がります。キャビネットが膨張しやすい状態になります。内部圧力が上がり過ぎないように、補助通気口に補助通気口エアフィルタを取り付け、ご使用ください。

## ⚠ 注意

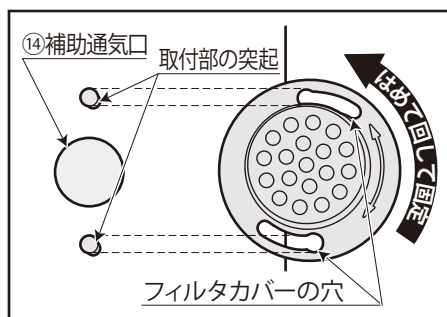
作業時には必ず、補助通気口エアフィルタをセットしてご使用ください。エアフィルタをセットせずに使用した場合、研磨材が吹き出す恐れがあります。

## ■補助通気口エアフィルタのセット

- ①付属品のフィルタカバーの窪みにフィルタをセットしてください。



- ②①でセットしたフィルタカバーの穴を本機背面にある取付部の突起に合うようにはめ、左方向に回して固定ください。



## ⚠ 注意

・フィルタが目詰まりを起こしますと、内部のエアが抜けにくくなります。作業ごとにこまめに掃除をしてください。

### ・エアフィルタの清掃 **P18**

・研磨材が磨耗して粒子が細くなることによりフィルタが目詰まりを起こしやすくなります。その際は、研磨材の交換を行ってください。

### ・研磨材の抜き取り **P18**

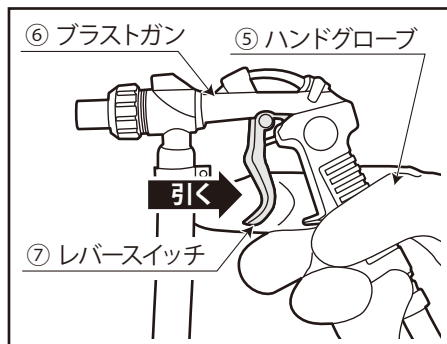
### ・研磨材の投入 **P13**



- ③手をハンドグローブに差し込みます。ブラストガンをしっかりと握り、レバースイッチを引くと、ブラストガンの先端から圧縮空気と共に研磨材が吐出します。

**⚠ 警告**

キャビネットのフタが確実に閉まっていないと、キャビネット内の研磨材が飛び散り、思わぬけが、事故の原因となり、危険です。



- ④ブラストガンをブラストするものに向け、円を描くようにブラストしてください。

**⚠ 注意**

- ・同じ場所を続けてブラストすると、削り過ぎますのでご注意ください。
- ・削り過ぎる場合は、圧縮空気の圧力を低くするか、ノズルを交換してください。

・ノズルの交換 **P11** ➡

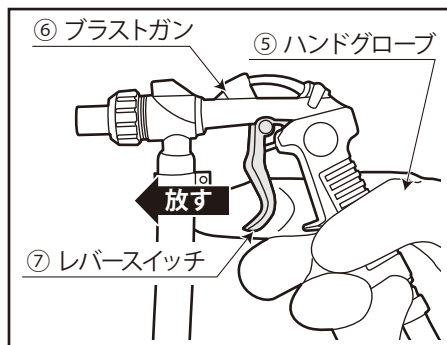
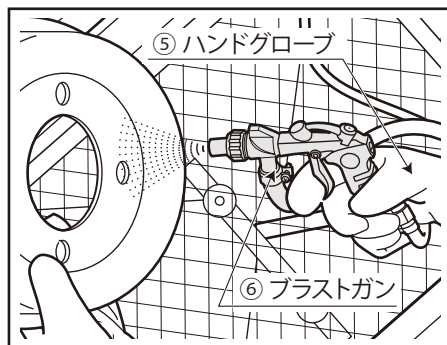
- ・削れない場合は、圧縮空気の圧力を高くするか、ノズルを交換してください。

・ノズルの交換 **P11** ➡

- ⑤レバースイッチを放すと、研磨材の吐出が止まります。

**⚠ 注意**

- ・作業終了後、すぐにはキャビネットのフタを開けないでください。キャビネット内の粉じんが収まったのを確認してから、開けてください。
- ・作業中は、コンプレッサの水抜きをこまめにしてください。圧縮空気内の水分で研磨材が湿気り、ノズルの詰まりの原因になります。




# 故障かな?と思ったら

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

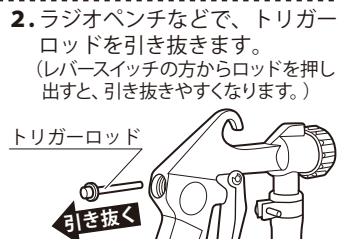
●次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症状	原因	解決方法
プラスチックから研磨材が出ない。	①エアホースがつながっていない。	①エアホースが確実に繋がっているか、確認してください。 <b>P14</b>
	②エアコンプレッサの使用空気圧力が低い。	②ご使用のエアコンプレッサの使用空気圧力を0.6～0.7MPaに上げてください。 <b>P16</b>
	③ノズルが詰まっている。	③ノズル内を清掃するか、ノズルを交換してください。 <b>P11</b>
	④研磨材が湿っている。	④コンプレッサ等の水分をこまめに除去してください。 ※より水分除去効果を得るには、市販のエアフィルタのご使用をおすすめします。 <b>P29</b>
	⑤研磨材の投入量が少ない。	⑤研磨材の量を確認してください。 <b>P13</b>
作業能率が上がらない。	①研磨材の磨耗	①古い研磨材を抜き取り、新しい研磨材を投入してください。 <b>P13・18</b>
	②研磨材の不適合。	②用途に合った研磨材をご使用ください。 <b>P13</b>
レバースイッチを引いていないのに、プラスチックからエアが出る。	①トリガーロッドのOリングの位置ズレ。	①下記手順に従って、Oリングの位置を調整してください。

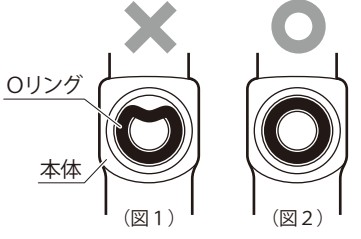
**1.** バネ押さえねじを⊖ドライバなどでゆるめ、取り外します。



**2.** ラジオペンチなどで、トリガーロッドを引き抜きます。  
(レバースイッチの方からロッドを押し出すと、引き抜きやすくなります。)



**3.** トリガーロッドを抜いた穴から、Oリングを確認します。  
(図1)のように変形している場合は、細い⊖ドライバなどでOリングを一度取り外し、(図2)のような正常な状態になるよう、取り付け直してください。



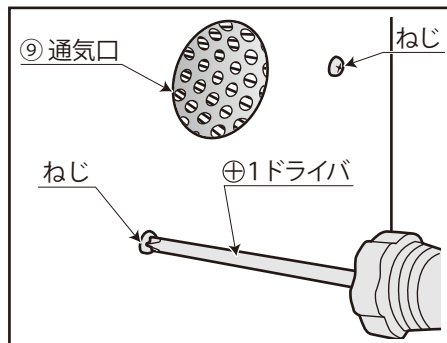
※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

## ■エアフィルタの交換

エアフィルタは定期的に点検し、破損や劣化の場合には、交換してください。

※エアフィルタの交換には、⊕1ドライバをご用意ください。

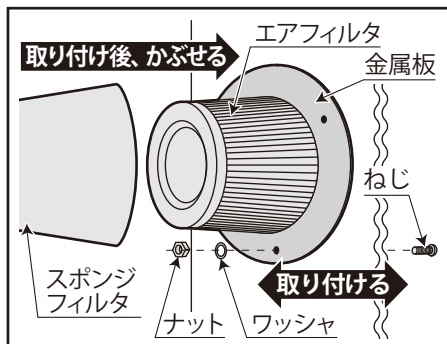
- ①通気口に取り付けられているエアフィルタを固定しているねじ（3ヶ所）を⊕1ドライバでゆるめ、取り外します。



- ②新しいエアフィルタをキャビネットと①で外した金属板で挟むようにセットし、ナット、ワッシャ、ねじで右図のように取り付けてください。残りの2ヶ所も同様にし、3ヶ所を均等な力で確実に締めてください。取り付け後、スポンジフィルタをかぶせて終了です。

### ⚠ 注意

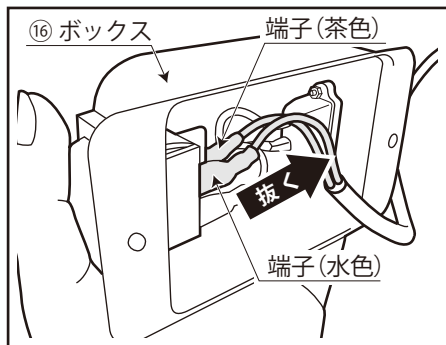
均等に3ヶ所のねじを確実に締めてください。偏りがある締め方はキャビネットとエアフィルタ間に隙間を作り、研磨材が漏れる恐れがあります。



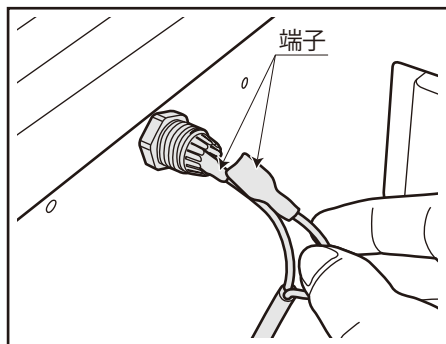
- ④ ライトの端子（2ヶ所）を慎重に抜きます。

**⚠ 警告**

端子を抜く時は、慎重に抜いてください。乱暴に扱うと断線・短絡（ショート）の恐れがあります。



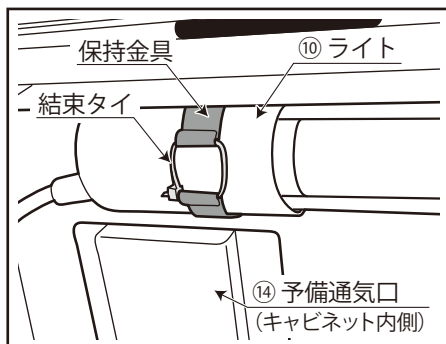
- ⑤ 外した端子は2個同時に取り出せないで、1個ずつ穴から取り出します。



- ⑥ ライトの保持金具（2ヶ所）に結束タイが付いている場合はハサミなどで切って外し、ライトを取り出します。

**⚠ 注意**

- ・ 結束タイは輸送時の脱落防止を目的としており、通常使用時・ライト交換時には無くても支障ありません。
- ・ 結束タイをハサミなどで切る場合は、けがをしないようご注意ください。



## ■フタの交換

フタは定期的に点検し、破損や劣化の場合には、交換してください。

- ※フタの交換には、
- ・⊕2 ドライバ
  - ・⊕3 ドライバ
  - ・7mmスパナ
  - ・10mmスパナ
- をご用意ください。

### ⚠ 注意

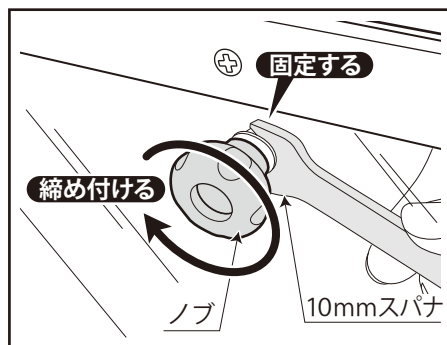
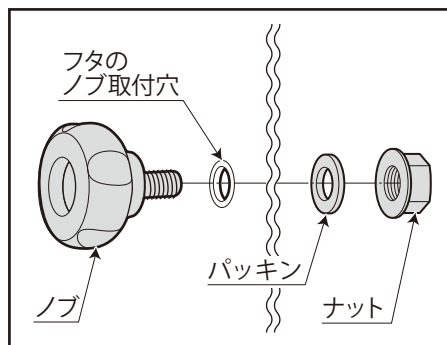
フタ表面を保護しているフィルムを剥がしてから交換してください。

#### ① ノブとフタを組み立てます。

ノブ・フタ・パッキン・ナットを  
図の順番で組み立てます。

※フタは蝶番が付いている方が、ノブ  
面です。

#### ② 10mmスパナでナットを固定し ながらノブを締め付けてください。



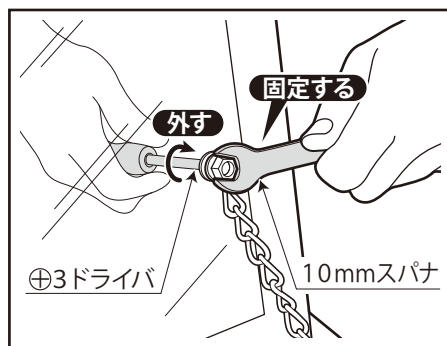
#### ③ 今付いているフタを外します。

チェーンを取り付けているナット  
を10mmスパナで固定し、反対  
側から⊕3 ドライバでねじを回し  
て外してください。

※ナット、ねじ、ワッシャ、パッキン  
は再度使用しますので保管しておい  
てください。

### ⚠ 注意

チェーンを外す際、フタが倒れやすく、  
不安定になりますのでご注意ください。



# 保守と点検

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

## ⚠ 警告

お手入れや点検の際は、必ずエアコンプレッサとの接続を解除し、ライトの電源スイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因となります。

### ■作業後のお手入れ

- ・研磨材吸込口を固定してるナットとワッシャを外し、キャビネット内の研磨材を研磨材吸込口取付穴から取り出し、残った研磨材は、ブラシなどで掃き出してください。
- ・エアフィルタや通気口の周りに付着した粉じん等をブラシなどで取り払ってください。

### ■各部の点検

- ・各部（フタ、ブラストガン、ノズル、ハンドグローブ挿入部、ライト等）に異常や破損がないか。
- ・研磨材の磨耗等で作業効率が悪くないか。
- ・研磨材とエアホースが湿っていないか。
- ・キャビネットのフタのパッキンから漏れがないか。
- ・各部取付ねじは、ゆるんでいたり、破損していないか。

以上の点検を定期的に行うことをおすすめします。  
点検せず、異常があるまま使用すると大変危険です。

### ■保管について

使用しない場合はきちんと保管してください。また、次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる所

### ■修理について

- ・本製品は、当社規格に基づき厳密な精度で製造、検査しておりますが、万一正常に作動しなくなった場合は、お買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。
- ・お問い合わせや連絡がないまま、直接販売元に修理品等を送付されても処理対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

# エアパーツ接続例

